

セーフティー教室



人の命を助けるって何だろう



こ い  
この子は「あるる」と言います。

ふだん まち あんぜん まも しごと  
普段はみなさんの街の安全を守る仕事をしている  
アルソック かいしゃ はたら  
ALSOKという会社で働いています。

きょう あんぜん あんしん まいにち す  
今日は、みんなが安全に、安心して毎日を過ごすため  
にはどうしたらよいのかをまな 学ぶ、「あんしん教室」で  
はなし たいせつ つた き  
お話ししている大切なことを伝えるために来ました。

ひと いのち たす おも こころ いっぽ ふ  
人の命を助けるための「思いやりの心」と「一歩踏み  
だ ゆうき いのち たいせつ いっしょ  
出す勇気」そして命の大切さを、「あるる」と一緒に  
べんきょう  
お勉強しましょう。

命を助けるために  
何ができるかニャ？



あるる

倒れている人を見つけたら何をすればいいかニャ？



## ①周囲の安全確認

- ・近づく前に  
倒れている人のいる場所が  
危険な場所でないかを確認する

## ②反応の確認

- ・肩をたたきながら「もしもし」と声をかける
- ・最初はやさしく、だんだん強く(大きな声で)

## ③助けを呼ぶ

- ・大声で周囲の人に助けを求める
- ・おとなを呼んでもらう
- ・119番通報してもらう
- ・AEDを持ってきてもらう



# ③助けを呼ぶ

119



119にかける  
ときは、お金  
はいらないよ

「119番消防署です。  
火事ですか？救急ですか？」

救急です！

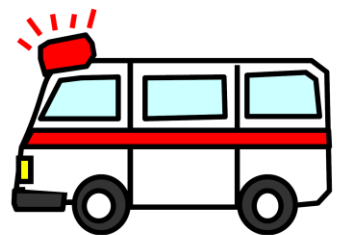
「どうしましたか？」

人が倒れています。  
意識がありません！

「場所はどこですか？」

〇〇小学校の校庭です！

「分かりました！すぐに  
救急車出動します！」



何を話せば良いか分からなくなっても、119番の人が確認してくれるから大丈夫ニャ！



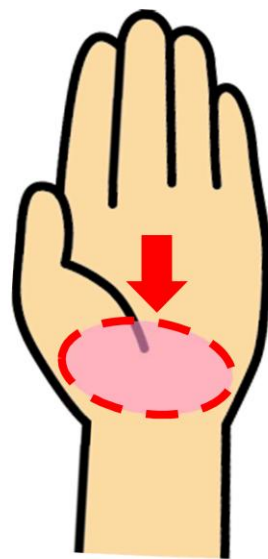
## ④呼吸の確認

- ・胸やおなかが上下しているか？
- ・手を置いて確認するのがコツ
- ・10秒以内に判断する

きょうこつ あっぱく

## ⑤胸骨圧迫

- ・腕をしっかり伸ばし、手を重ね、手のひらの付け根部分で胸の中央を押さえる
- ・「強く」・・・5cm以上しずむくらい
- ・「早く」・・・1秒間に2回くらい
- ・「絶え間なく」・・・中断しない



迷ったら、みんなにもできること(助けを呼ぶ、119番に電話する、大人の人を連れてくる)をするニャ！





## 【先生・保護者の皆さまへ】

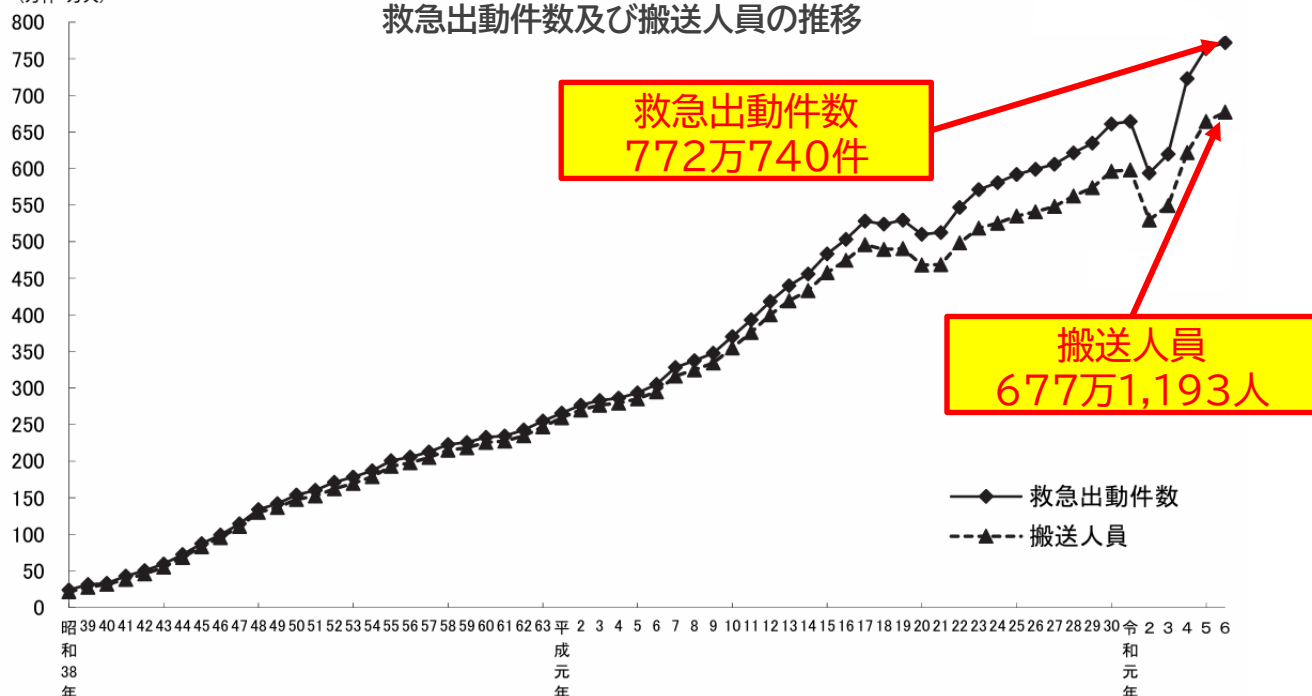
日常生活の中で、生死の問題について考える機会は決して多いとは言えません。本授業では、救急救命の活動を通して、自らの生命の大切さや、生命の尊厳について考えました。また、「思いやりの心」と「勇気」を持って行動すれば、人の命を救うことに繋がることを学びました。

救急出動件数および搬送人員の推移を示したものが下のグラフです。近年は1分間に約15件の救急出動があり、救急車の現場到着所要時間は全国平均約9.8分、病院収容所要時間は44.6分です。

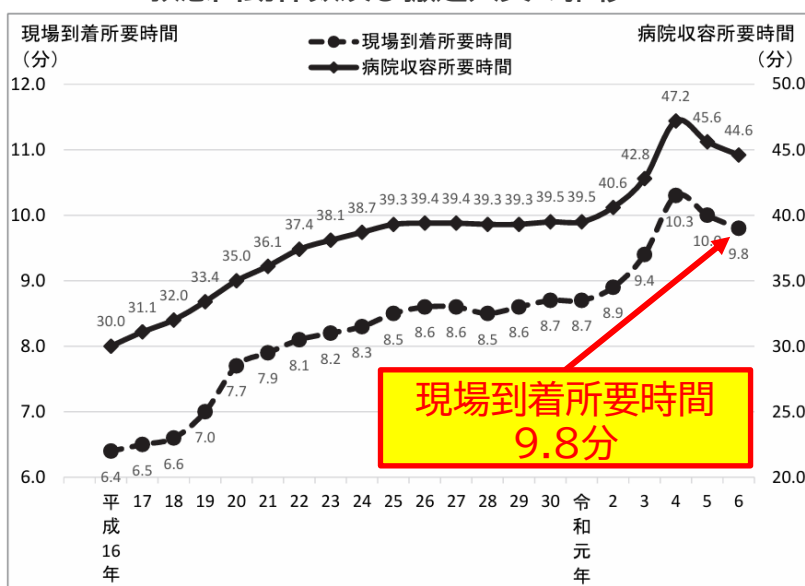
心肺停止後の経過時間と社会復帰率を見ますと、救急車が到着するまでの間に、そこに居合わせた人による心肺蘇生がいかに重要かが分かります。命の大切さと、自分にもできること、そして一歩踏み出す勇気を持つことを、反復して学習するための教材として活用されることを願っています。

(万件・万人)

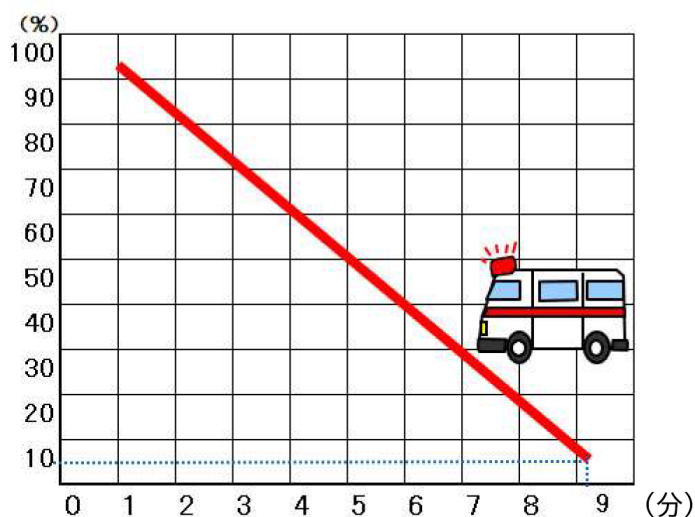
救急出動件数及び搬送人員の推移



救急出動件数及び搬送人員の推移



心肺停止後の経過時間と社会復帰率



出典:改訂3版「救急蘇生法の指針」市民用・解説編